

AED

丸マフラー型消音器



シンプル構造

AED型は丸管接続タイプのマフラー型消音器です。通風部はパンチングメタルの筒型で、角形の外板との間に吸音層がある非常にシンプルな構造になっています。

圧力損失は直管程度

丸管で接続する場合は、圧力損失をほとんど考慮する必要はありません。直管程度と考えて下さい。但し、積み重ねて使用する給排気シャフトなど消音器全体が通風スペースになるときは、圧力損失は大きくなります。この場合の圧力損失値などは弊社までお問い合わせ下さい。

色々な使い方

φ100の小さなものからφ1200の大口径までの製品があります。各サイズによって使用される場所・形態も様々です。AEDのL寸法が長くなれば減音量も大きくなりますので、必要減音量に合わせて調整が可能です。

地下駐車場あるいは地下鉄の給排気シャフトなどに設置する消音器としても使用可能です。φ200～φ450程度のAED型消音器を縦・横に積み重ねて用います。

AEC型消音器はセル状に並べて使いますが、AED型消音器も同様の使い方になります。AEC型よりもやや圧力損失が大きいですが、以下のメリットがあります。

- 高周波の減音性能が良いこと
- 断面形状が一樣なので比較的L寸法が短くてもある程度の減音量が確保
- 外形が小さいものもあるので、設置断面形状に柔軟に対応

使われる場所

設置場所	消音器D寸法
住宅・マンションなどの換気口(ベンドキャップ)	φ200以下程度
一般空調ダクト	φ600以下程度
体育館・展示場などの大型施設の空調ダクト	φ300～φ1200程度
室外機・冷却塔などの吐出ファン用消音器	φ600～φ1200程度
地下駐車場・地下鉄などの給排気シャフト	φ200～φ450を積み重ねて使用



AEDの挿入損失値: dB

消音器寸法 [mm]				挿入損失値 [dB]							
				オクターブバンド中心周波数 [Hz]							
φD	W	H	長さ	63	125	250	500	1000	2000	4000	8000
100	250	250	900	2	4	15	22	36	27	20	15
150	300	300	900	2	4	14	20	29	22	15	10
200	350	350	900	2	5	12	19	25	19	12	8
250	400	400	900	2	5	12	19	23	14	11	8
300	500	500	1200	4	7	14	20	27	14	12	10
350	550	550	1200	4	7	14	18	25	14	12	10
400	600	600	1200	4	7	13	17	24	13	11	9
450	650	650	1200	3	7	12	16	22	12	10	9
500	700	700	1200	3	6	12	15	21	11	10	9
550	750	750	1200	3	6	12	15	20	11	10	9
600	900	900	1500	6	8	13	16	24	13	12	10
700	1000	1000	1500	6	8	13	14	21	12	11	10
800	1100	1100	1500	5	8	12	13	17	11	10	10
900	1300	1300	1800	7	9	13	13	19	13	12	10
1000	1400	1400	1800	7	9	13	12	18	11	10	10
1100	1500	1500	1800	7	9	13	11	17	10	10	9
1200	1600	1600	1800	7	9	12	10	17	10	10	9